

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月3日

事業所名:チャイルドハート東海津北

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|--|----|-------------------|---|----------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 5 | | 運動場や公園なども利用している | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | | ・各資格者の配置を日ごとにチェックしている ・規定数よりも多い人数配置をしている | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | | 5 | 玄関に段差がある | 現在バリアフリーが必要な利用者はいないが、今後検討していきたい。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 5 | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 5 | | 評価結果を保護者に配布 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 5 | | 今後検討していきたい。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | | 今年は新型コロナウイルス感染防止の為中止になった研修もあった。 | 年間研修計画を立て、全員が研修の機会が持てるようにしていく。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | | | 今後も利用者を大切にしたい個別支援計画を作成していく。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | | 必ずミーティングをおこなっている | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | | 様々な経験ができるよう工夫している | 地域や季節や個々の課題を踏まえてプログラムを工夫していきたい。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 5 | | 様々な経験ができるよう計画立案している | 長期休暇期間にしかできない経験なども設定していきたい。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | | 集団遊びを楽しみにできるような支援を工夫している | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | | 毎日必ずミーティングを行い、職員間での情報共有をしている | 今後も全職員で共通認識を持って支援にあたるようにする |
| 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | | その日の課題や留意点を共有している | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|--------------------------------------|--|
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | | その日のうちに支援日誌、業務日誌を記入している | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 5 | | 個別支援計画立案については必ず全職員で会議を行っている | 個別支援計画立案には全員が参加し、いろいろな角度からの意見を聞けるようにしている。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | 5 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 5 | | 児童発達支援管理責任者が参画している | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 5 | | 学校、事業所での様子等を常に情報共有している | 学校との連携を常に心がけ連携をとっている。学校行事などにもできる限り参加でしていきたい。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | 5 | 医療的ケアが必要な利用者はいないが、主治医には事業所での様子を伝えている | 現在までに医療的ケアが必要な利用者を受け入れたことがないが、主治医との連携を密にとしていきたい。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 5 | | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 5 | | | 本年度は対象者がいないが、そのような場合には情報提供をしていきたい。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | 1 | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 5 | | 学校協力のもと、他の学童や児童との関わり、場の共有をしている | 放課後児童クラブとの連携をはかりながら、一緒に活動できる機会を増やしていきたい。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 1 | 4 | | 参加をする機会がない。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | | 連絡ノートや送迎時に子どもの状況を伝えている | 子どもの様子を保護者と共有し、共通理解のもと支援をしていきたい。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 4 | 1 | | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | | 必要に応じて保護者対応をしている | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 5 | | 今年度は新型コロナウイルス感染防止の為に中止した | 新型コロナウイルス感染状況を見ながら開催していきたい。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 5 | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 5 | | 毎月便りを配布している | 今後も子どもの様子や活動等を知らせていきたい。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---------------------------------|---------------------------------|
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 5 | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 5 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1 | 4 | 自治会に入ったり地域の祭りに参加している | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 5 | | 緊急時などの対応を保護者に配布したり、緊急連絡網を作成している | 今後も保護者や職員にわかりやすいよう周知していく。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 5 | | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | | 研修会の還流をミーティングを利用して行っている | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 5 | | | 契約書に記載している。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | | 面談時にしっかり聞き取りをし、一覧にしている | 必要に応じて医師の診断書の提出をお願いする等対応を考えていく。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | | 危険と感じたことはその日のうちに指導員間で話合っている | 話合ったことを記録に残すようにしていく。 |